

令和5年度

# 教育功勞者功績概要

千葉県教育委員会

## 1 教育行政の部

### 浦安市教育委員会教育長 鈴木忠吉

平成30年、浦安市教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を生かし、浦安市の教育のあり方や基本理念等を示した「浦安市教育ビジョン」を策定し、各施策を大きく推進した。就学前からの学びの連続性を重視した園小中連携・一貫教育の推進、一人一台タブレット端末の導入、特別支援学級の計画的な開設、きめ細かな指導を行うための「学年・教科支援教員」「学習支援室活用推進教員」の配置など、教育環境の整備に取り組んだ。この間、千葉県都市教育長協議会副会長を務めるなど、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 前旭市教育委員会教育長 諸持耕太郎

平成29年、旭市教育委員会教育長に就任し、2期6年間務めた。教育委員会新制度の最初の教育長として、卓越した見識と豊富な経験を生かし、旭市の学校教育、生涯学習、文化・体育振興などに尽力した。国が進めるGIGAスクール構想に早期から着目して各種ICT機器を導入し、学校現場の教職員を支援するための体制を構築するよう適切な指導・助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 勝浦市教育委員会教育長 岩瀬好央

平成30年、勝浦市教育委員会教育長に就任し、現在に至る。卓越した見識と豊富な経験を活かし、空調設備の設置やICT機器の整備、校務支援システムの導入等、教育環境の充実に努めた。また、地域と連携し、学校支援や多様な体験活動の場を提供する等、地域学校協働活動の推進に尽力した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 元印西市教育委員会委員 大野忠寄

平成23年、印西市教育委員会委員に就任。11年4か月にわたり教育委員を務め、その間教育長職務代理者を4年4か月務めた。卓越した見識と豊富な経験を生かし、学校の老朽化対策や空調設備の設置、新学校給食センターの新設やICT教育を推進するためのタブレット端末の導入など、印西市の教育環境の整備に適切な助言・指導を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 東庄町教育委員会委員 林英伸

平成23年、東庄町教育委員会委員に就任し、現在に至る。この間、平成26年10月から同27年3月まで委員長を、教育長職務代理者を3年間務めた。卓越した見識と豊富な経験を活かし、学校給食センターの新築移転や小学校の統合、ICT環境整備、校務支援システムの導入などの教育環境の整備に取り組んだ。また、子育て支援の拡充として、給食費の無償化を推進するなど、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

元一宮町教育委員会委員 **渡 邊 惠之助**

平成 23 年、一宮町教育委員会委員に就任。12 年にわたり教育委員を務めた。保育園や認定こども園の園長として、学校と連携して次世代を担う子どもたちの育成に尽力し、その視点から教育施策へ適切な指導・助言を与えた。また、卓越した見識と豊富な経験を生かし、学校施設の耐震改修や空調設備の設置の実施など、教育環境の充実に取り組むとともに、生涯学習や文化振興にも広く貢献した。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

袖ヶ浦市教育委員会委員 **多 田 正 行**

平成 24 年、袖ヶ浦市教育委員会委員に就任し、現在に至る。また、平成 24 年 12 月から委員長職務代理者を 2 年、同 26 年 12 月から教育委員長を 2 年、令和 4 年 12 月から教育長職務代理者を務めている。千葉県の教育行政職に長年従事した豊富な知識と経験を有し、幅広い分野から精通した見識を活かし、適切な指導、助言を与えた。この間、地方教育行政の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁企画管理部長 **富 田 浩 明**

昭和 61 年、千葉県立柏高等学校教諭。山武農業高等学校教諭、長生高等学校教諭、教育庁教職員課管理主事、山武市立山武南中学校教頭、教育庁県立学校改革推進課副主幹、同教育総務課副主幹、同学校安全保健課主幹を経て平成 30 年、茂原高等学校校長。その後、教育庁教育振興部副参事、同教職員課長、同教育総務課長を歴任し、令和 5 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県教育庁教育振興部長 **中 西 健**

昭和 63 年、銚子市立飯沼小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁義務教育課管理主事、同教職員課管理主事、同教育総務課主査、銚子市立双葉小学校教頭、教育庁教職員課管理主事、同教育総務課副主幹を経て平成 25 年、銚子市立豊岡小学校校長。その後、教育庁北総教育事務所主席管理主事、同教職員課主席管理主事、同教職員課管理室長、同児童生徒課生徒指導・いじめ対策室長、同児童生徒課長、同教育政策課長、同教育総務課長、同学校危機管理監を歴任し、令和 5 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

## 2 学校保健の部

### 市川市立塩焼小学校学校医 石 森 義 郎

昭和 56 年、市川市立塩焼小学校、同市立幸小学校学校医に就任。以来現在に至るまで、同市立信篤小学校学校医として、定期的に学校へ赴き、児童の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い健康保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

### 浦安市立北部小学校学校医 牧 野 毅

昭和 62 年、浦安市立北部小学校学校医に就任。以来現在に至るまで、学校医として、定期的に学校へ赴き、児童の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、浦安市医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

### 松戸市立稔台小学校学校医 後 藤 林 八

昭和 56 年、松戸市立稔台小学校学校医に就任。以来現在に至るまで、同市立河原塚中学校学校医として、定期的に学校へ赴き、児童・生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い健康保持増進に積極的に取り組んだ。本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

### 茂原市立東郷小学校学校医 菅 原 黎 明

昭和 56 年、茂原市立五郷小学校学校医に就任。以来現在に至るまで、同市立東郷小学校学校医として、定期的に学校へ赴き、児童の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、茂原市長生郡医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

### 茂原市立西小学校学校医 鎗 田 謙 二

昭和 57 年、茂原市立西小学校、同市立早野中学校学校医に就任。以来現在に至るまで、学校医として、定期的に学校へ赴き、児童・生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、茂原市長生郡医師会理事、副会長、会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

芝山町立芝山中学校学校医 高 根 宏

昭和 56 年、芝山町立芝山中学校学校医に就任。以来現在に至るまで、同町立芝山小学校学校医として定期的に学校へ赴き、児童・生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等、学校保健全般にわたり指導・助言を行い健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、山武郡市医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立富士見中学校学校医 今 井 征 二

昭和 51 年、茂原市立富士見中学校学校医に就任。以来現在に至るまで、同市立豊田小学校、西小学校、本納小学校、豊岡小学校、二宮小学校、緑ヶ丘小学校、新治小学校、茂原中学校、本納中学校学校医として、定期的に学校へ赴き、児童・生徒の健康診断、健康相談はもとより、学校内の衛生環境整備や管理、健康の常時管理等学校保健全般にわたり指導・助言を行い、健康保持増進に積極的に取り組んだ。また、茂原市長生郡医師会理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説くなど、本県保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元富里市立富里南小学校学校歯科医 國 枝 弘

昭和 56 年、富里市立洗心小学校、同市立浩養小学校、同市立浩養幼稚園学校歯科医に就任。その後昭和 61 年、同市立富里南小学校、同 63 年、千葉県立富里高等学校学校歯科医に就任。以来 42 年の長きにわたり、歯科健康診断を行うなど、園児・児童・生徒の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また、印旛郡市歯科医師会理事、専務理事、副会長を歴任し、会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど、本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

芝山町立芝山小学校学校歯科医 藤 田 義 彦

平成元年、芝山町立芝山中学校、同町立東小学校学校歯科医に就任。その後平成 28 年に同町立芝山小学校学校歯科医に就任。以来 34 年の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、児童・生徒の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。特に学校保健の重要性を認識し事業に取り組むなど、本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元木更津市立木更津第二小学校学校歯科医 藤 井 一 夫

昭和 54 年、木更津市立木更津第二小学校学校歯科医に就任。その後平成 11 年、同市立桜井保育園学校歯科医に就任。以来 39 年余の長きにわたり、歯科健康診断はもとより、歯科相談・口腔衛生指導を行うなど、園児・児童の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また、君津木更津歯科医師会理事、専務理事を歴任し、会員に歯科保健の重要性を説くなど、本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立姉崎小学校学校歯科医 松田 博

昭和 51 年，市原市立東海幼稚園学校歯科医に就任。その後昭和 55 年，同市立明神小学校，平成元年，同市立姉崎小学校，同 19 年，同市立千種幼稚園学校歯科医に就任。以来現在に至るまで 48 年の長きにわたり，歯科健康診断を行うなど，園児・児童の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また，市原市歯科医師会理事，専務理事，副会長，会長を歴任し，会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど，本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立ちはら台桜小学校学校歯科医 宮吉 正人

平成元年，市原市立若葉保育園学校歯科医に就任。その後平成 5 年，同市立水の江小学校，同 22 年，同市立ちはら台桜小学校，同 30 年，千葉県立姉崎高等学校学校歯科医に就任。以来現在に至るまで 35 年の長きにわたり，歯科健康診断はもとより，歯科相談・口腔衛生指導を行うなど，園児・児童・生徒の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また，市原市歯科医師会理事として，会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど，本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元松戸市立常盤平中学校学校歯科医 原 正明

昭和 63 年，松戸市立常盤平中学校学校歯科医に就任。以来 33 年余の長きにわたり，歯科健康診断を行うなど，生徒の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また，松戸歯科医師会理事として，会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど，本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元千葉市立みつわ台中学校学校歯科医 下 向 央

昭和 52 年，千葉市立みつわ台中学校，同市立稲毛第二小学校学校歯科医に就任。以来 42 年の長きにわたり定期歯科健康診断を通して児童・生徒の健康保持・増進に積極的に取り組んだ。また，千葉市歯科医師会理事として，会員に学校保健の重要性を説き後進の育成をするなど，本県の保健教育の進展に寄与した功績は大である。

元銚子市立高神小学校学校薬剤師 山口 純子

昭和 54 年 4 月に銚子市立高神小学校学校薬剤師に就任。以来，令和 5 年 3 月に至るまで卓越した知識と優れた技術を持ってその結果に基づき，常に児童のために指導及び助言を長きにわたり行い，同市内における教育の更なる発展に大きく寄与した功績は大である。

### 3 芸術文化の部

#### (1) 個人の部

##### 千葉県美術会常任理事 堀内 秀雄

千葉大学にて故伊藤孝氏・故平戸眞氏に、筑波大学大学院で故上野弘道氏に師事し、彫刻を学ぶ。平成9年、同11年に日展特選、平成6年、同7年に日彫展日彫賞を受賞。千葉県美術展覧会（県展）では、昭和61年に県展賞を受賞。昭和62年以降は県展彫刻部門の審査員を7回務める。こうした事績から、平成18年に千葉県美術会理事に、同30年から常任理事に推挙される。県展及び県美術会の発展や後進の指導育成に尽力するなど、彫刻を通じて本県の芸術文化の発展に寄与した功績は大である。

##### 千葉県美術会常任理事 川口 満

漆文化財仏像修復を齋藤敏彦氏に、漆芸を故武田武弘氏に学ぶ。日展では平成27年、平成30年に特選を受賞。千葉県美術展覧会（県展）では昭和61年に千葉市長賞、同62年に県議会議長賞、平成17年に県展賞、同20年に篠崎輝夫賞を受賞。平成18年以降、県展工芸部門の審査員を4回務める。こうした事績から、平成22年に千葉県美術会理事に、同30年から常任理事に推挙される。県展及び県美術会の発展や後進の指導育成に尽力するなど、工芸を通じて本県の芸術文化の発展に寄与した功績は大である。

##### 千葉県がり版アート孔版画研究会会長 西岡 とし子

昭和56年にがり版アート孔版画研究会（現千葉県がり版アート孔版画研究会）役員に就任後、副会長就任を経て、平成28年より会長を務める。体験会や展覧会の実施など、がり版アート孔版画の奥深い芸術性を多くの方に伝えるとともに、特に次世代への普及活動に尽力している。また、平成29年以降は、毎年県が主催する千葉・県民文化祭に参加し、同会によるがり版アート孔版画展の実施を通じて、県民の文化芸術に対する機運の向上に努めるなど、本県の文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

##### 千葉県川柳作家連盟会長 名雪 凜々

平成5年に千葉県川柳作家連盟の理事に就任後、副会長就任を経て、令和5年より会長を務める。幅広い事業を展開し、県内の川柳作家及び川柳団体相互の技術向上及び活動の発展に尽力した。また、毎年県が主催する千葉・県民文化祭に参加し、同会が主催する千葉県川柳大会では、川柳の魅力を多くの方に発信するのみならず、ジュニア投句部門を設け、若者からの積極的な参加に尽力するなど、川柳を通じて本県の文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

元千葉県文化財保護審議会委員 矢島道子

平成24年から令和4年まで千葉県文化財保護審議会委員を務め、千葉県内の天然記念物、特に地質・鉱物に関する分野の調査・保存に尽力した。専門分野は、地質学、古生物学、科学史で、特に地質学、古生物学の学史研究に精力的に取り組んでいる。また、地質学や化石研究の歴史に関する一般書を多く執筆するなど、学問の普及にも尽力している。千葉県の文化財保護、特に天然記念物の保存・活用に寄与した功績は大である。

千葉県指定無形文化財保持者 常世田 眞彦郎

その技術が認められ、平成13年に千葉県指定無形文化財「銚子縮」の保持者に認定され、今日に至る。銚子縮は江戸時代に銚子で多く生産された織物で、利根川の舟運により江戸に出回った。通常の何倍もの撚りをかけた右撚りと左撚りの緯糸（よこいと）を交互に織り込む手法が特徴で、サラリと肌触りの良く丈夫なことから、広く親しまれた。大正期には衰退し、昭和初期にはほとんど生産されなくなったが、戦後、祖父の眞次郎氏が復活させた。現在は眞彦郎氏が技術を受け継ぎ、伝統を守っている。本県の無形文化財保護における功績は大である。

勝浦市文化財審議会委員 菅根 幸裕

平成7年から今日まで勝浦市文化財審議会委員を務め、同21年から同25年までは同審議会会長を務める。また平成24年からは茂原市、同25年からは旭市、同27年からは千葉市、同29年からは船橋市の文化財保護審議会委員を務めるなど、県内市町村における文化財保護に尽力している。専門分野は、民俗学、歴史学、博物館学で、専門的な研究論文のほか、一般向け図書の著書もある。本県の文化財保護、特に民俗文化財の保存・活用における功績は大である。

松戸市文化財審議会会長 藤井 英二郎

平成10年から同18年まで松戸市文化財審議会委員、同18年から現在に至るまで、同審議会会長を務める。また、平成22年からは柏市文化財保護委員会、令和2年からは船橋市文化財審議会委員を務め、現在に至る。専門分野は、造園学、環境植栽学で、日本造園学会理事等を歴任するほか、近年では、国指定名勝「徳川昭武庭園（戸定邸庭園）」や国登録記念物「旧吉田氏庭園」の保存・活用に深く関わる。本県の文化財保護、特に文化財庭園の保存・活用における功績は大である。

## (2) 団体の部

### 長南町文化協会

平成6年設立。以来長南町の統括文化団体として、「合同作品展・芸能発表会」の企画運営や「長南町町民文化祭」の町教育委員会との共催など各種文化芸術事業を通じて、様々な分野の加盟団体相互の連携を図るとともに、町民の文化芸術活動の機運の向上及び文化芸術に触れ親しむ機会の提供に尽力した。また、平成8年からは千葉県芸術文化団体協議会に加盟し、さらに活動の幅を広げるなど、本県の文化芸術の振興に寄与した功績は大である。

### 東庄郷土史研究会

昭和58年10月の設立以来、40年にわたり東庄町の郷土史研究を継続し、東庄町の歴史学、民俗学の研究等に貢献してきた。会の活動は会員各個人がテーマを持ち、東庄町公民館の展示室において、研究成果を展示として発表している。また、会報として「東庄の郷土史」を年1回発行している。現在でも活発な活動を続けており、本県の文化財保護への貢献は大である。

### 七年まつり保存会

平成16年3月に「下総三山の七年祭り」が千葉県指定無形民俗文化財に指定され、本保存会が保存団体として認定されて以来、伝承を続けてきた。下総三山の七年祭りは、船橋市三山の二宮神社を中心に7年目ごとの丑年と未年に行われる寄合祭りで、船橋市、千葉市、八千代市、習志野市の9社から神輿が集まる。9月の小祭と11月の大祭があり、11月の大祭は3日間行われ、2日目の「安産御礼大祭」では9社の神輿が二宮神社に練り込み、その後、4社の神輿が幕張の浜に出て、夜半から翌未明にかけて、「産屋の祭り（磯出式）」が行われる。本県の無形民俗文化財の保護への貢献は大である。

### 安房やわたんまち安房国司祭継承保存会

平成16年3月に「安房やわたんまち」が千葉県指定無形民俗文化財に指定され、本保存会が保存団体として認定されて以来、伝承を続けてきた。安房やわたんまちは、館山市鶴谷八幡宮を中心とする寄合い祭りで、安房国司祭とも呼ばれ、9月14日から16日にかけて行われる。1日目に鶴谷八幡宮を目指して館山市及び南房総市の10社の神輿が集結し、2日目にはさらに山車の参集がある。その日の夕方から各神輿の還御がはじまり、その時に鶴谷八幡宮の神輿がお浜入りと称して海岸に向かう。本県の無形民俗文化財の保護への貢献は大である。

## 4 社会教育の部

### (1) 個人の部

#### 前千葉県PTA連絡協議会会長 濱 詰 大 介

平成24年度から八街市立朝陽小学校PTA副会長を皮切りに、同30年度から令和4年度まで印旛郡市PTA連絡協議会の副会長及び会長として活躍した。千葉県PTA連絡協議会では、平成30年度から監事・副会長を歴任し、令和3年度には会長に就任し、柔軟な態度と高いコミュニケーション能力で、適切な方策を打ち出し様々な課題を解決した。また、令和4年からは千葉県生涯学習審議会委員を務めるなど、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

#### 日本ボーイスカウト千葉県連盟名誉会議議員 菊 地 康 介

昭和58年から団委員、同59年からシニア隊長、同62年からローバー隊長としてスカウトの指導にあたり、平成11年からは団委員長として団の運営に携わり100人規模の団に成長させた。平成3年から同16年まで千葉県連盟副コミッショナー、コミッショナーを歴任し、指導者の養成、加盟員拡大及び活性化に優れた手腕を発揮した。平成17年から同18年には理事・企画財政委員長を務め、永年にわたるスカウティングの経験を活かし、多くの指導者を育成するなど、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

#### 千葉県子ども会育成連合会理事 鈴 木 三 枝 子

昭和62年に地元子ども会に加入後、平成3年には本埜村子ども会会長に就任し、令和4年度から現在まで印西市子ども会育成連絡協議会及び印旛支部副会長を務め、ジュニア・リーダーの指導などを担っているほか、千葉県子ども会育成連合会等のジュニア・リーダー研修会でも講師を務め、指導者の育成に尽力した。平成10年に千葉県子ども会育成連合会理事に就任し、21年にわたり運営に努めるなど、本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

### (2) 団体の部

#### 香取市立図書館

香取市立図書館は、昭和23年に創立された佐原中央図書館、同24年に創立された小見川図書館からなる。佐原中央図書館では、職員による「えほんのじかん」、ボランティアグループによる「わくわくおはなし会」、小見川図書館では「えほんのじかん」を定期的開催しているほか、学校との連携事業として、小学校に対して、団体貸出、出張おはなし会等を実施するなど、子どもたちが読書に親しめる機会の創出に力を入れている。これらの活動が評価され、平成29年度には「子供の読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受けるなど、香取市並びに本県の社会教育の進展に寄与した功績は大である。

## 5 学校教育の部

### (1) 個人の部

#### ア 県立学校

千葉県立幕張総合高等学校長 **横瀬正史**

昭和63年、千葉県立八千代西高等学校教諭。柏市立柏高等学校教諭、我孫子高等学校教諭、教育庁葛南教育事務所管理主事、同教職員課管理主事、市川昂高等学校教頭、教育庁指導課指導主事、同主席指導主事、同児童生徒課主席指導主事を経て、平成31年、関宿高等学校長。その後、千葉県子どもと親のサポートセンター所長となり、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立松戸国際高等学校長 **飯生政之**

平成元年、千葉県立流山東高等学校教諭（同20年から流山おおたかの森高等学校に統合）。松戸南高等学校教諭、農林水産部安全農業推進課主査、千葉県総合教育センター指導主事、同研究指導主事、柏特別支援学校教頭、教育庁学校安全保健課指導主事、同給食班長を経て、平成31年、船橋豊富高等学校長。その後、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立佐原高等学校長 **本宮照久**

昭和61年、千葉県立銚子高等学校教諭。成田西高等学校教諭（平成4年から成田国際高等学校に校名変更）、佐倉南高等学校教諭、教育庁指導課指導主事、同教職員課管理主事、佐倉市立佐倉中学校教頭、教育庁学校安全保健課給食班長、同指導課主席指導主事、同学習指導課学力向上室長を経て、令和2年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立成東高等学校長 **伊藤政利**

昭和61年、千葉県立京葉工業高等学校教諭。佐原女子高等学校教諭（平成15年から佐原白楊高等学校に校名変更）、銚子高等学校教諭、教育庁体育課主査、環境生活部国体・全国障害者スポーツ大会局主査、同大会総務課主査、同副主幹、教育庁体育課指導主事、同競技力向上班長、佐原白楊高等学校教頭、教育庁体育課スポーツ推進室オリンピック・パラリンピックアスリート強化支援班長、同スポーツ推進室競技スポーツ班長を経て、平成30年、銚子市立銚子高等学校長。その後、教育庁体育課長となり、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立木更津高等学校長 卯月 睦彦

昭和 63 年、千葉県立成田西高等学校教諭（平成 4 年から成田国際高等学校に校名変更）。印旛高等学校教諭（平成 22 年から印旛明誠高等学校に校名変更）、市原園芸高等学校教諭（同 17 年から鶴舞桜が丘高等学校に統合。その後、同 31 年から市原高等学校に統合）、教育庁指導課指導主事、総務部学事課主査、教育庁指導課指導主事、同県立学校改革推進課副主幹、鶴舞桜が丘高等学校教頭（同 31 年から市原高等学校に統合）、教育庁県立学校改革推進課副主幹、同教育政策課主幹を経て、平成 31 年、天羽高等学校校長。その後、令和 3 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立姉崎高等学校長 加瀬 直人

昭和 61 年、千葉県立上総高等学校教諭（令和 3 年から君津高等学校に統合）。姉崎高等学校教諭、千葉県総合教育センター指導主事、教育庁指導課指導主事、千葉県総合教育センター研究指導主事、教育庁南房総教育事務所管理主事、市原市立姉崎中学校教頭、鶴舞桜が丘高等学校教頭（平成 31 年から市原高等学校に統合）、教育庁学習指導課教育課程室主幹、千葉県総合教育センター次長を経て、令和 2 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、地理歴史科及び公民科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立市川特別支援学校長 井上 宏樹

昭和 62 年、千葉県立市川養護学校教諭（平成 19 年から市川特別支援学校に校名変更）。八千代養護学校教諭（平成 19 年から八千代特別支援学校に校名変更）、船橋市立船橋養護学校教諭（同 19 年から船橋市立船橋特別支援学校に校名変更）、市川特別支援学校教諭、教育庁学校安全保健課指導主事、松戸南高等学校教頭、教育庁教職員課管理主事、同県立学校改革推進課副主幹、同教職員課人事室特別支援学校班長を経て、平成 31 年度から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立東葛飾高等学校事務主幹 長谷川 雅昭

昭和 62 年、千葉県立野田北高等学校主事（平成 18 年から野田中央高等学校に校名変更）。船橋旭高等学校主事（平成 23 年から船橋啓明高等学校に校名変更）、同主任主事、八千代高等学校主任主事、同副主査、白井高等学校副主査、船橋古和釜高等学校副主査、船橋特別支援学校主査を経て、平成 27 年、船橋夏見特別支援学校事務長。その後、松戸六実高等学校事務長、我孫子東高等学校事務長を歴任し、令和 4 年から現職。この間、よく校長を補佐し、円滑な学校事務の運営に努め、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉県立佐倉高等学校事務主幹 下 川 道 子

昭和 60 年，千葉県立白井高等学校主事。八千代東高等学校主事，犢橋高等学校主事，同主任主事，若松高等学校主任主事，同副主査，柏井高等学校副主査，教育庁教育振興部生涯学習課副主査，同主査，佐倉高等学校主査を経て，平成 27 年，八千代西高等学校事務長。その後，四街道特別支援学校事務長，栄特別支援学校事務長を歴任し，令和 3 年から現職。この間，よく校長を補佐し，円滑な学校事務の運営に努め，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

## イ 市町村立学校

### 習志野市立谷津小学校校長 井上 聡 子

昭和 61 年、印旛郡白井町立清水口小学校教諭。県内小学校教諭、習志野市教育委員会学校教育課主査、同指導課指導主事、習志野市立谷津小学校教頭、習志野市教育委員会指導課主任指導主事を経て、平成 28 年、習志野市立秋津小学校校長。その後、教育庁葛南教育事務所主席指導主事、同指導室長、同次長を歴任し、令和 4 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、生活科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 船橋市立行田東小学校校長 五十嵐 信 昭

昭和 61 年、浦安市立東小学校教諭。管内小学校教諭、浦安市教育委員会指導課副主査、浦安市立明海小学校教頭、教育庁葛南教育事務所管理主事、浦安市教育委員会学務課主幹を経て、平成 28 年、浦安市立明海南小学校校長。その後、教育庁葛南教育事務所管理課長、同次長、教育庁南房総教育事務所長、浦安市立東小学校校長を歴任し、令和 5 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、算数科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 船橋市立塚田南小学校校長 小池 正 樹

昭和 63 年、印旛郡栄町立酒直小学校教諭。県内小学校教諭、現代産業科学館上席研究員、同主任上席研究員、船橋市立船橋小学校教頭、教育庁葛南教育事務所管理主事を経て、平成 29 年、船橋市立坪井小学校校長。その後、教育庁葛南教育事務所主席管理主事、同管理課長を歴任し、令和 3 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 市川市立八幡小学校校長 石井 辰 治

昭和 63 年、市川市立国分小学校教諭。管内小学校教諭、市川市教育委員会保健体育課副主幹、教育庁県立学校改革推進課副主幹、同教職員課管理主事、市川市立大和田小学校教頭を経て、平成 29 年、市川市立行徳小学校校長。その後、市川市教育委員会指導課長、同学校教育部次長を歴任し、令和 3 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、総合的な学習の時間の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 市川市立幸小学校校長 河部 純

昭和 61 年、市川市立南行徳小学校教諭。管内小学校教諭、教育庁葛南教育事務所社会教育主事、市川市立国府台小学校教頭を経て、平成 30 年、市川市立妙典小学校校長。その後、市川市教育委員会義務教育課学校安全安心対策担当室長を経て、令和 3 年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立中部小学校長 齊藤 一夫

昭和62年、流山市立南部中学校教諭。管内小学校教諭、松戸市教育委員会学務課管理主事、松戸市立六実第三小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、平成28年、松戸市立牧野原小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所管理課長、同次長、松戸市教育委員会学校教育部長を歴任し、令和3年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

松戸市立横須賀小学校長 東畑 宏之

昭和61年、松戸市立第一中学校教諭。管内中学校教諭、松戸市教育委員会指導課指導主事、松戸市立八ヶ崎小学校教頭、現代産業科学館主任上席研究員、松戸市教育委員会指導課長補佐を経て、平成30年、松戸市立殿平賀小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所主席指導主事、松戸市立東部小学校長を歴任し、令和5年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

柏市立光ヶ丘小学校長 荻村 竜一

昭和63年、仙台市立西多賀小学校教諭。千葉県内小学校教諭、ロンドン日本人学校教諭、柏市教育委員会学校保健課指導主事、同学校教育課管理主事、柏市立豊小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、平成28年、柏市立酒井根西小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所主席管理主事、同管理課長、同次長を歴任し、令和3年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、生徒指導の充実に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

成田市立成田小学校長 君塚 信宏

平成元年、成田市立成田小学校教諭。県内小学校教諭、教育庁指導課指導主事、成田市立公津の杜小学校教頭、教育庁北総教育事務所指導主事を経て、平成28年、印西市立大森小学校長。その後、千葉県総合教育センター主席研究指導主事、教育庁北総教育事務所主席指導主事、同指導室長を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立小見川中央小学校長 島石 耕 治

昭和 62 年、佐原市立東大戸小学校教諭。管内小学校教諭，総合企画部男女共同参画課主査，教育庁生涯学習課主査，同特別支援教育課指導主事，香取市立佐原小学校教頭，千葉県総合教育センター研究指導主事，教育庁北総教育事務所管理主事を経て，平成 28 年，香取市立香取小学校長。その後，教育庁学校安全保健課主幹，同安全室長，千葉県子どもと親のサポートセンター所長を歴任し，令和 3 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，安全教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

山武市立成東小学校長 鈴木 賢 司

昭和 62 年，東金市立鴛嶺小学校教諭。管内小学校教諭，社会部青少年女性課副主査，企画部男女共同参画課副主査，大網白里町立大網小学校教頭，教育庁東上総教育事務所管理主事を経て，平成 26 年，九十九里町立豊海小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席指導主事，同山武分室長，東金市立鴛嶺小学校長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，国語科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大網白里市立大網小学校長 川崎 宏 薫

昭和 61 年，東金市立福岡小学校教諭。管内小学校教諭，サンホセ日本人学校教諭，教育庁東上総教育事務所指導主事を経て，平成 30 年，大網白里市立季美の森小学校長。その後，大網白里市教育委員会管理課副参事となり，令和 3 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，道德教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大網白里市立白里小学校長 山 桐 吉 之

平成元年，印旛郡八街町立実住小学校教諭。県内小学校教諭，大網白里町教育委員会生涯学習課副課長，大網白里町立大網小学校教頭，教育庁生涯学習課社会教育主事を経て，平成 30 年，富里市立富里南小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席社会教育主事，同山武分室長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立萩原小学校長 酒井 昌 史

昭和 61 年，長生郡一宮町立一宮中学校教諭。管内中学校教諭，教育庁教職員課管理主事，茂原市立本納小学校教頭，教育庁特別支援教育課指導主事を経て，平成 25 年，長南町立西小学校長。その後，教育庁教職員課主席管理主事，同指導課人権教育室長，同北総教育事務所長，同特別支援教育課長，同教職員課長，千葉県総合教育センター所長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，理科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

茂原市立東部小学校長 金澤 勤

昭和 63 年、習志野市立第七中学校教諭。県内中学校教諭，教育庁体育課主査，茂原市立南中学校教頭，教育庁体育課指導主事を経て，平成 29 年，山武市立蓮沼小学校長。その後，茂原市教育委員会学校教育課主幹，同課長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

勝浦市立勝浦小学校長 軽 込 貫 一

昭和 62 年，勝浦市立勝浦中学校教諭。管内中学校教諭，教育庁東上総教育事務所管理主事，勝浦市立郁文小学校教頭，勝浦市教育委員会教育課長を経て，平成 29 年，いすみ市立太東小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席指導主事，同指導室長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，技術科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

いすみ市立大原小学校長 小 高 太

昭和 61 年，勝浦市立又新小学校教諭。管内中学校教諭，教育庁体育課指導主事，いすみ市立国吉中学校教頭，同市立大原中学校教頭，教育庁東上総教育事務所指導主事を経て，平成 30 年，いすみ市立岬中学校長。その後，教育庁東上総教育事務所夷隅分室長となり，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政において実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大多喜町立大多喜小学校長 田 中 憲 生

昭和 61 年，市原市立平三小学校教諭。県内小学校教諭，千葉大学教育学部附属小学校教諭，教育庁生涯学習課副主幹，勝浦市立郁文小学校教頭，千葉市教育委員会学事課管理主事を経て，平成 29 年，いすみ市立東海小学校長。その後，教育庁生涯学習課社会教育振興室長，同学校・家庭・地域連携室長を歴任し，令和 3 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，環境教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

館山市立北条小学校長 安 藤 深佳子

昭和 61 年，四街道市立中央小学校教諭。県内小学校教諭，同主幹教諭，館山市立館野小学校教頭，同市立北条小学校教頭，教育庁南房総教育事務所管理主事を経て，平成 29 年，館山市立船形小学校長。その後，教育庁特別支援教育課教育支援室長となり，令和 3 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，総合的な学習の時間の充実に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

富津市立飯野小学校長 菊地定勝

昭和61年、君津市立小櫃小学校教諭。管内小学校教諭、富津市教育委員会学校教育課指導主事、富津市立天神山小学校教頭、富津市教育委員会教育センター主幹、同所長を経て、平成28年、富津市立金谷小学校長。その後、教育庁南房総教育事務所主席管理主事、同管理課長、同次長を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立辰巳台東小学校長 野澤省吉

昭和62年、市原市立国分寺台中学校教諭。管内中学校教諭、教育庁南房総教育事務所指導主事、市原市教育委員会指導課指導主事、市原市立辰巳台中学校教頭、市原市教育委員会学校教育課副主幹を経て、平成28年、八街市立川上小学校長。その後、市原市教育委員会学校教育部学校教育課長、同部次長、同部長を歴任し、令和3年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立登戸小学校長 甲斐安弘

昭和61年、銚子市立第四中学校教諭。千葉市内中学校教諭、千葉市教育センター指導主事、千葉市立高洲第二中学校教頭、千葉市教育委員会指導課指導主事、同教育指導課主任指導主事を経て、平成30年、千葉市立高洲第四小学校長。その後、千葉市教育委員会学事課統括管理主事となり、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、技術科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立宮本中学校長 日根野達也

昭和61年、船橋市立三山中学校教諭。管内中学校教諭、船橋市教育委員会総合教育センター主査、船橋市立宮本中学校教頭、現代産業科学館上席研究員、教育庁教職員課管理主事を経て、平成27年、船橋市立飯山満中学校長。その後、教育庁教職員課任用室長、同南房総教育事務所長、同学校安全保健課長、同学校危機管理監を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

船橋市立海神中学校長 渡邊環

平成元年、船橋市立芝山中学校教諭。管内中学校教諭、生実学校児童自立支援専門員、船橋市立旭中学校教頭、教育庁葛南教育事務所指導主事を経て、平成29年、船橋市立豊富中学校長。その後、教育庁葛南教育事務所主席指導主事となり、令和3年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、社会科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

浦安市立高洲中学校長 土田正義

昭和63年、千葉県立香取養護学校教諭（平成19年から香取特別支援学校に校名変更）。県内中学校教諭、浦安市教育委員会指導課指導主事、浦安市立美浜中学校教頭、教育庁葛南教育事務所管理主事を経て、平成30年、浦安市立入船小学校長。その後、教育庁葛南教育事務所主席管理主事、同管理課長を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、特別支援教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

流山市立おおぐろの森中学校長 前川秀幸

昭和62年、船橋市立宮本中学校教諭。県内中学校教諭、手賀の丘少年自然の家社会教育主事、流山市教育委員会学校教育課管理主事、流山市立南流山中学校教頭、教育庁教職員課管理主事を経て、平成27年、流山市立江戸川台小学校長。その後、流山市教育委員会学校教育部次長、同部長を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、保健体育科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

我孫子市立久寺家中学校長 鴨下隆

昭和63年、東葛飾郡沼南町立手賀中学校教諭。管内中学校教諭、我孫子市教育委員会指導課指導主事、同学校教育課管理主事、我孫子市立新木小学校教頭、教育庁東葛飾教育事務所管理主事を経て、平成30年、我孫子市立湖北台東小学校長。その後、教育庁東葛飾教育事務所管理課長、同次長を歴任し、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、理科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

佐倉市立佐倉東中学校長 加藤康男

昭和62年、印旛郡富里町立富里中学校教諭。管内中学校教諭、富里市教育委員会学校教育課指導主事、富里市立富里中学校教頭、教育庁指導課指導主事を経て、平成29年、佐倉市立臼井西中学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席指導主事となり、令和4年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立小見川中学校長 栗芝博

昭和61年、千葉市立末広中学校教諭。県内中学校教諭、教育庁文化課研究員、同指導課指導主事、同教育総務課主査、香取市立小見川中学校教頭、教育庁北総教育事務所管理主事を経て、平成26年、多古町立中村小学校長。その後、教育庁北総教育事務所主席管理主事、同生涯学習課学校・家庭・地域連携室長、同東上総教育事務所長を歴任し、令和3年から現職。この間、学校経営及び教育行政に実績を上げ、特に、英語科教育の振興に尽力し、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

香取市立山田中学校長 菅澤成公

昭和 63 年，佐倉市立臼井中学校教諭。管内中学校教諭，香取市立八都第二小学校教頭，教育庁北総教育事務所指導主事，神崎町立神崎中学校教頭を経て，平成 30 年，香取市立福田小学校長。その後，千葉県総合教育センター主席研究指導主事，教育庁北総教育事務所香取分室長を歴任し，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，社会科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

大網白里市立大網中学校長 竹澤英樹

昭和 61 年，松戸市立第五中学校教諭。県内中学校教諭，教育庁東上総教育事務所指導主事，大網白里市立増穂中学校教頭，同大網中学校副校長を経て，平成 29 年，四街道市立八木原小学校長。その後，教育庁東上総教育事務所主席指導主事となり，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，技術科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

鴨川市立長狭中学校長兼長狭小学校長 鈴木智夫

昭和 61 年，安房郡天津小湊町立小湊中学校教諭。管内中学校教諭，南房総市立丸山中学校教頭，教育庁南房総教育事務所指導主事，同体育課指導主事を経て，平成 30 年，館山市立那古小学校長。その後，教育庁体育課学校体育班長となり，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

市原市立国分寺台西中学校長 野城茂行

昭和 62 年，市原市立若葉中学校教諭。管内中学校教諭，千葉県立市原高等学校教諭，市原市教育委員会指導課指導主事，市原市立辰巳台中学校教頭，教育庁南房総教育事務所指導主事を経て，平成 31 年，市原市立湿津中学校長。その後，市原市教育委員会教育センター所長を経て，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，数学科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

千葉市立椿森中学校長 阿部健一郎

昭和 62 年，千葉市立生浜中学校教諭。千葉市内中学校教諭，千葉市教育委員会保健体育課指導主事，同保健係長，千葉市立生浜中学校教頭，千葉市教育委員会保健体育課長補佐を経て，平成 30 年，千葉市立緑が丘中学校長。その後，千葉市教育委員会保健体育課長となり，令和 4 年から現職。この間，学校経営及び教育行政に実績を上げ，特に，保健体育科教育の振興に尽力し，本県教育の進展に寄与した功績は大である。

## (2) 団体の部

### 千葉県立銚子高等学校

明治44年開校。以来、地域の女子教育の拠点として優れた教育実践を続けてきた。平成19年度に共学化。平成26年度から防災教育の研究に取り組み、学校設定科目「防災の学び」を開講。地域や専門機関と連携した課題研究型学習の発表会「県銚アカデミア」は各方面から高い評価を受けた。令和2年度に学校安全表彰文部科学大臣賞、同3年度には内閣府防災教育チャレンジプラン防災教育優秀賞を受賞。読書推進活動にも尽力し、県銚モブ（朝読書）や校内ビブリオバトル等の取組は生徒の主体的な探究学習の礎となっており、令和4年度には子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰を受賞するなど、本県の高等学校教育の進展に寄与した功績は大である。

### 千葉県立柏特別支援学校

昭和56年開校。以来、東葛飾地区の教育委員会や福祉等の関係機関と連携を図りながら、特別支援教育のセンター校としての役割を果たしてきた。平成21年4月に、県立高等学校内に柏特別支援学校流山分教室が開設された。高等学校の体育祭や文化祭、収穫祭などに参加し、自然なかかわりや交流及び共同学習を通して、相互理解の深まりが図られており、全県のモデル校となっている。平成26・27年度には、千葉県教育委員会の一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程の研究として、「性に関する指導」についてのテーマの指定を受け、発達段階や生活年齢に応じた教材・教具、ワークシート等を作成し、公開研究会でその研究の成果を示した。これらの教育実践は、高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 館山市立那古幼稚園

昭和29年開園。以来、創意ある教育課程の実施と、地域に開かれ保護者に信頼される園づくりを目指し、現在では教育目標を「明るい子・元気な子・思いやりのある子の育成」とし教育活動に邁進している。令和3・4年度に千葉県教育委員会「特色ある道徳教育推進校」として指定を受け、研究主題を『道徳性の芽生え』を支援する保育のあり方～小学校教育への接続を見据えて～とし、研究を実践。同推進校の館山市立那古小学校と連携し、令和4年度に小学校と共同公開研究会を開催するなど取組の成果を広めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 八千代市立村上東小学校

昭和51年開校。以来、長年にわたり理科教育を中心に研究・実践を行ってきた。昭和61年から八千代市教育委員会より理科センターの指定を受け、現在は「自ら問題を探究する児童の育成」を研究主題として教育活動に取り組んでいる。理科事故防止研修会を毎年開催し、理科実験を安全に行う上での注意点や理科実験による学びの深まりを目指し、体験型の研修を行っている。また、学校教育の柱に理科を据えて継続研究しており、公開研究会でその成果を市内外に広く展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 鎌ヶ谷市立東部小学校

昭和 37 年開校。以来、先進的な取組を実践し、研究実績を上げている。令和 3・4 年度には文部科学省から「ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」の指定を受け、聴覚障害の通級指導において、オンラインを活用した指導実践に取り組んだ。この実践は「障害種別に遠隔による自立活動の効果的な指導の在り方」を明らかにすることを目的とし、通級児童が下校後に家庭で行うオンラインでのペア学習により、伝え合う力を高めることができた取組であり、今後難聴通級指導の充実につながるものとして高く評価されている。以上のことから、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 八街市立朝陽小学校

昭和 22 年開校。以来、令和 3 年度から現在に至るまで、文部科学省の学校安全総合支援事業の研究指定を受け、独創的かつ先進的な取組を行っている。デジタル技術を活用した安全教育や、校内の安全環境整備、安全教育における「カリキュラム・マネジメント」の考え方を生かした教育活動の工夫等の実践が認められ、令和 5 年 5 月、本県で初めて日本セーフティプロモーションスクール（SPS）協議会の認証校となった。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 東金市立正気小学校

昭和 5 年開校。以来、家庭・地域との連携を密にしながら、「豊かな心を持ち、進んで学び、たくましく生きる児童の育成」を目指し、特色ある教育活動を展開してきた。平成 26・27 年度に千葉県教育委員会「食育指導推進拠点校」として授業公開。令和 3・4 年度に文部科学省委託事業「ICT を活用した自立活動の効果的な指導の在り方の調査研究」に取り組み、特別支援教育におけるオンラインを活用した自立活動についての研究を実践した。この研究の成果と課題については、オンデマンドにより配信された。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 館山市立那古小学校

明治 36 年開校。以来、多様な教育課題の研究に優れた成果を残している。現在は学校教育目標を「何でも、ゴシゴシ磨いて、しなやかに生きる児童の育成」とし特色ある教育活動に邁進している。令和 3・4 年度に千葉県教育委員会「特色ある道徳教育推進校」として指定を受け、「考え、議論する」道徳科の授業研究を実践した。同推進校の館山市立那古幼稚園と連携し、両推進校の職員が協働して単元デザインや授業計画を検討し、令和 4 年度に 3 回の公開研究会を共同開催するなど取組の成果を広めた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 千葉市立緑町小学校

昭和 39 年開校。以来、理科教育における先進的な研究を進めている。平成 27 年度に理科の研究実践が高い評価を受け、文部科学省より「創意工夫育成功労学校賞」を受賞。平成 30 年度に「感動を通して自ら追究し続ける児童の育成」、令和 4 年度に「見方・考え方を意識的に働かせる理科、思いや願いを大切に生活科」の研究指定を受け、職員が一丸となり多様な教育課題に取り組んだ。令和 3・4 年度には、千葉県児童生徒・教職員科学作品展「科学論文の部」で学校賞を受賞するなど、理科教育における教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 千葉市立扇田小学校

平成 9 年開校。以来、家庭、地域との連携を図り、学力向上や食育、ICT の効果的な活用などへの先進的な取組を実践してきた。平成 24 年度に千葉市教育委員会より「環境教育推進校」、平成 30・令和元年度に「健康教育」の研究指定を受け、保健・食育・体力向上を関連させた研究実践に取り組んだ。令和 4 年度には「ICT 活用に関する研究協力校」として 1 人 1 台端末（ギガタブ）の効果的な活用について研究実践した。これらの教育実践は高く評価されており、市内外からの多くの教育関係者の視察を積極的に受け入れるなど、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 船橋市立坪井中学校

昭和 55 年開校。以来、学校教育目標を「豊かな心を持ち たくましく生きる 生徒の育成 自学・自正・自鍛」と定め教育活動を展開している。教育研究の分野では、平成 25 年度に「国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校」となった。令和元年度には船橋市教育委員会から「道徳教育」の研究指定を受け、研究主題である「カリキュラム・マネジメントの視点を重視したユニット型道徳授業の実践」の実現を目指し、研究に取り組んだ。令和 3 年には研究公開を行い、市内外に広く研究成果を発表した。これらの研究や実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 我孫子市立湖北台中学校

昭和 44 年開校。以来、地域社会と連携した教育活動を重視している。平成 30 年 1 月には、25 年間続くボランティア活動に対し、千葉県ライトブルー少年賞を受賞。この活動は現在も継続されている。平成 30～令和 3 年度に我孫子市教育委員会より学校図書館活用の推進事業の指定を受け、図書室の有効な活用についての実践的な取組を行った。令和 3・4 年度に千葉県教育委員会の「特色ある道徳教育推進校」の指定を受け、「考え、議論する道徳」を目指した指導方法と評価の実践研究を展開している。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 一宮町立一宮中学校

昭和 33 年開校。以来、人間性あふれる生徒の育成を目指す中で大きな成果を上げてきた。平成 25 年度「体力づくり推進モデル校」、同 29～令和 3 年度「オリンピック・パラリンピック教育推進校」、令和元年度「中学生・高校生との交流会」、同 2～4 年度千葉県教育委員会「福祉教育推進校」、同 4 年度千葉県「心のバリアフリー教育推進事業拠点校」など、多種多様な研究指定校として、教職員が一丸となり、地域と連携しながら、現代的教育課題への研究を実践し、その成果を町内外の教育関係者へ発表してきた。これらの教育実践は高く評価され、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 御宿町立御宿中学校

昭和 22 年開校。以来、生徒の主体性を引き出す授業のあり方を目指し研究を進めている。近年では、平成 26・27 年度は文部科学省「武道等指導推進事業」、同 30 年度から 3 年間千葉県教育委員会「福祉教育推進校」、令和 3・4 年度は千葉県教育委員会「特色ある道徳教育推進校」の指定を受ける。多様な現代的教育課題に対して、常に地域を巻き込みながら、生徒の主体的な学びを推進する幅広い教育活動を展開している。思考ツールの活用など生徒の学びを促進するために日常から学校全体で取り組む職員集団の意欲的な姿勢は高く評価され、本県教育の進展に寄与した功績は大である。

### 千葉市立花園中学校

昭和 22 年開校。以来、先進的な研究を重ね、キャリア教育を通じた表現の工夫や各教科の授業実践を行い、成果を挙げている。平成 26 年度、文部科学省のキャリア教育優良学校賞を受賞。文部科学省から平成 27 年度に「学力把握実践研究指定校」、同 28 年度には「学習指導実践研究指定校」としての委託を受け、英語科、社会科、数学科における学力向上を目指した授業実践に取り組んだ。令和 2・3 年度は、千葉市教育委員会から「道徳教育」の研究指定を受け、討論や話し合い活動を通して道徳性を高める研究を行った。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。